

貯法：室温保存  
有効期間：3年

■ 65 ■

漢方製剤

キ ヒ トウ

# ツムラ帰脾湯エキス顆粒(医療用)

### 3. 組成・性状

#### 3.1 組成

販売名	ツムラ帰脾湯エキス顆粒（医療用）
有効成分	本品7.5g中、下記の割合の混合生薬の乾燥エキス4.5gを含有する。 日局オウギ ..... 3.0g 日局オンジ ..... 2.0g 日局サンソウニン ..... 3.0g 日局タイソウ ..... 2.0g 日局ニンジン ..... 3.0g 日局トウキ ..... 2.0g 日局ビャクジュツ ..... 3.0g 日局カンゾウ ..... 1.0g 日局ブクリョウ ..... 3.0g 日局ショウキヨウ ..... 1.0g 日局リュウガンニク ..... 3.0g 日局モッコウ ..... 1.0g
添加剤	日局ステアリン酸マグネシウム、日局乳糖水和物

#### 3.2 製剤の性状

剤形	顆粒剤
色	淡灰褐色
におい	特異なにおい
味	甘味を帯びて特異である
識別コード	ツムラ/65

### 4. 効能又は効果

虚弱体質で血色の悪い人の次の諸症：  
貧血、不眠症

### 6. 用法及び用量

通常、成人1日7.5gを2～3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、体重、症状により適宜増減する。

### 8. 重要な基本的注意

- 8.1 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。  
8.2 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血压等に十分留意すること。[10.2、11.1.1、11.1.2 参照]  
8.3 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

### 9. 特定の背景を有する患者に関する注意

#### 9.1 合併症・既往歴のある患者

- 9.1.1 食欲不振、恶心、嘔吐のある患者  
これらの症状が悪化するおそれがある。

#### 9.5 妊婦

妊娠又は妊娠している可能性のある女性には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

#### 9.6 授乳婦

治療上の有益性及び母乳栄養の有益性を考慮し、授乳の継続又は中止を検討すること。

#### 9.7 小児等

小児等を対象とした臨床試験は実施していない。

#### 9.8 高齢者

減量するなど注意すること。一般に生理機能が低下している。

日本標準商品分類番号	
875200	
承認番号	16100AMZ01154000
販売開始	1986年10月

### 10. 相互作用

#### 10.2 併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
カンゾウ含有製剤 芍薬甘草湯 補中益氣湯 抑肝散 等 グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤 グリチルリチン酸一アンモニウム・グリシン・L-システイン グリチルリチン酸一アンモニウム・グリシン・DL-メチオニン配合錠 等 [8.2、11.1.1、11.1.2 参照]	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。また、低カリウム血症があるため、結果として、血清カリウム値の低下が促進されることとなる。	グリチルリチル酸は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、ミオパチーが発生やすくなる。

### 11. 副作用

次の副作用があらわれることがあるので、観察を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

#### 11.1 重大な副作用

##### 11.1.1 偽アルドステロン症（頻度不明）

低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。[8.2、10.2 参照]

##### 11.1.2 ミオパチー（頻度不明）

低カリウム血症の結果としてミオパチーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。[8.2、10.2 参照]

#### 11.2 その他の副作用

	頻度不明
過敏症	発疹、蕁麻疹等
消化器	食欲不振、胃部不快感、恶心、腹痛、下痢等

### 12. 臨床検査結果に及ぼす影響

本剤の投与により、血中AG（1,5-アンヒドロ-D-グルシトール）が増加する場合がある。

### 15. その他の注意

#### 15.1 臨床使用に基づく情報

湿疹、皮膚炎等が悪化することがある。

### 20. 取扱い上の注意

20.1 本剤の品質を保つため、できるだけ湿気を避け、直射日光の当たらない涼しい所に保管すること。

20.2 開封後は特に湿気を避け、取扱いに注意すること。

20.3 本剤は生薬を原料としているので、色調等が異なることがある。

### 22. 包装

- 500g [ボトル]  
2.5g×42包 [分包]  
2.5g×189包 [分包]

### 24. 文献請求先及び問い合わせ先

株式会社ツムラ お客様相談窓口  
東京都港区赤坂2-17-11 〒107-8521  
TEL : 0120-329-970 FAX : 03-5574-6610

**26. 製造販売業者等**

**26.1 製造販売元**

株式会社ツムラ

東京都港区赤坂2-17-11